

●単元目標

- ・親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。
- ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

●本時のめあて

「柿主」「山伏」の人物像を意識して音読劇の練習をしよう

●ICT活用のポイント

- ・個人やグループの活動・成果が集約されたノートから、前時の成果を取り出し振り返る。
- ・付箋に意見を書き出してノート上で共有・交流したり、相互評価したりする。
- ・先生のPC操作がほとんど無いため負担がなく、指導に専念できる。

●スマイルネクストの活用機能

- ・スマイルノート
付箋、同時編集

	学習活動	ICT活用
一斉 導入	1. 前時の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・柿主グループと山伏グループそれぞれが付箋に書き出した「柿主」「山伏」がどのような人物かを確認し、柿主と山伏の人物像を振り返る。 2. 本時のめあてを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「柿主」「山伏」の人物像を意識して音読劇の練習をしよう。 </div>	人物像を振り返る  前時に付箋に書き出した柿主と山伏の人物像をクラス全員で振り返る
協働 展開	3. 班にわかれて音読劇をする <ul style="list-style-type: none"> ・柿主と山伏の人物像が現れる音読のしかたを意識して、2人1組でパート毎に音読劇をする。 ・班のメンバーは、良かった点やアドバイスを端末上で付箋に書き、音読劇をした友だちのノートに貼り付ける。 ・班全員が音読劇を終えるまで繰り返す。 	付箋で評価し合う  良かった点やアドバイスを付箋に書き音読劇をした人のノートに貼る
個別	4. 個人で音読を練習する <ul style="list-style-type: none"> ・自分のノートに書き込まれた良かった点やアドバイスを確認し、通して練習する。 	音読劇を練習する  自分のノートに書かれたアドバイスを意識して音読劇を練習する
一斉 まとめ	5. 本時の学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・代表者がクラス全員の前で音読劇をする。 	



スマイルネクスト 活用ポイント

1. 各班のノートを1枚のノートに集約
2. 自分の端末から、音読している子のノートにリアルタイムで書き込み

活用例

ノートを集約して前時の復習

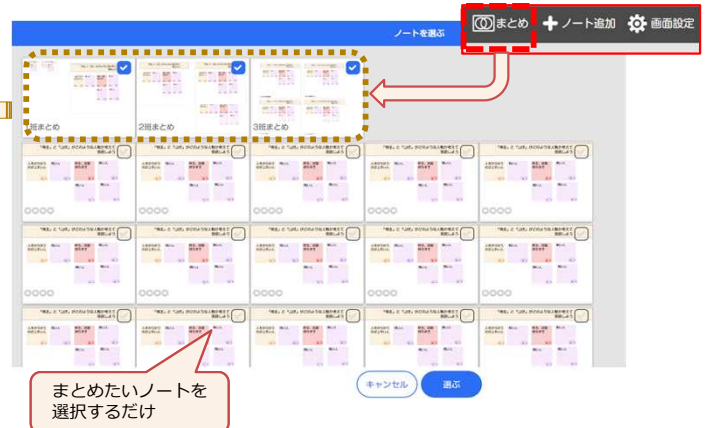
「柿主」「山伏」の人物像について、前時に各グループ毎にまとめたノートを一箇所にとまとめる。それぞれの人物像を振り返り、イメージを作った上で音読に取りかかる。



各班のまとめノートを先生がさらに集約

いろいろな意見をまとめて確認

個人のノートを1枚に集約できるからグループ毎のまとめが簡単に行える。グループ毎にまとめたノートを先生がさらにまとめることもできるので前時の復習にも役立つ。

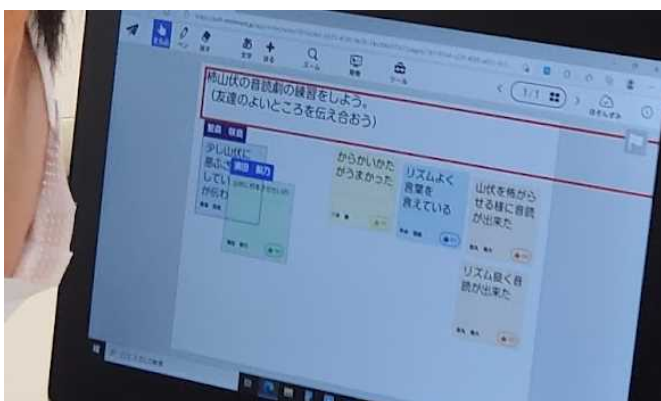


まとめたいノートを選択するだけ

活用例

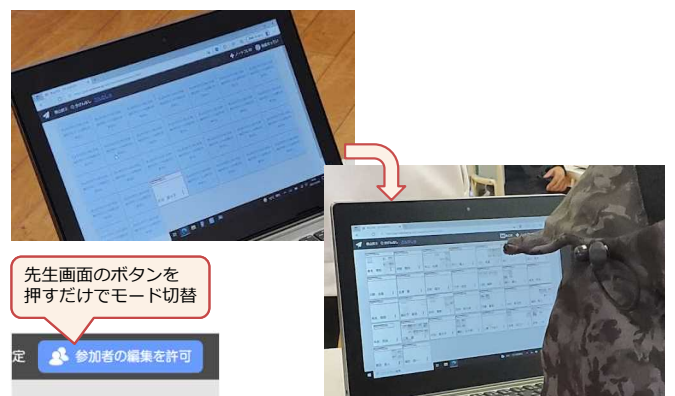
それぞれの端末から1枚のノートを同時編集

自分の端末から、音読している子のノートにみんなで同時に直接書き込めるので思考を止めること無く、友達の良かった点を伝えることができる。



個別学習から協働学習への切り替え

先生の手元のボタン1つで、個別学習モードから協働編集モードに切り替えることができる。学習シーン毎にアプリを切り替える必要が無いので円滑な授業運営が可能。



先生画面のボタンを押すだけでモード切替

参加者の編集を許可

● OnePoint

付箋に意見を書き込むことで、後からの確認も容易に

付箋を利用することで、意見がまとめやすくなり、思考毎の分類も可能になる。複数台のPCから1枚のノートに同時に意見を書き込む際も、付箋なら整理が容易。また、付箋毎に「いいね」の人数を表示するので評価尺度としても使える。